



BY – LAWS

国際航空連盟 定款付則

2000年9月28-29日のFAI総会で承認

2021年版

日本語訳掲載	2022年02月03日
FAI発行	2021年11月16日
FAI告示とHP掲載	2021年11月01日

FAI定款 (STATUTES) および
定款付則 (By-Laws) を併せてFAI規約とする

Fédération Aéronautique Internationale
Maison du Sport International
Avenue de Rhodanie 54 CH-1007 Lausanne (Switzerland)
Tel: +41(0) 21 345 10 70
Fax: +41(0) 21 345 10 77
E-mail: sec@fai.org;
Web: www.fai.org

一般財団法人 日本航空協会

本書は、FAI By-Laws を翻訳したもので、訳文に疑義がある場合は、英語版が優先する。
本書(日本語版)の著作権は (一財) 日本航空協会に帰属する。本書の全部
あるいは一部を (一財) 日本航空協会の承諾なし転載することはできない。

国際航空連盟

MSI - Avenue de Rhodanie 54 - CH-1007 Lausanne – Switzerland

著作権 2021

本書の著作権は国際航空連盟（FAI）に帰属する。

FAI の代理人、あるいは FAI 会員に対しては、以下の条件に基づきこの文書をコピー、印刷、及び配布する事が許可される。

1. 本書は情報としての使用のみが可能であり、商業目的で利用することはできない。
2. 本書の全部あるいは一部をコピーする場合は、著作権に関する注意書を必ず含めること。

本書に記述されている製品、方法、技術は、FAI あるいは他に知的所有権が帰属している場合がある為、上記条件は適用できない。

国際航空連盟 (FAI) 定款付則

目次

第 1 章	一般規定	4
第 2 章	FAI 会員資格に関する規則および手続き	6
第 3 章	委員会に関する規則および手続き	8
第 4 章	事務局長および FAI 事務局	14
第 5 章	FAI 事業活動	14
第 6 章	FAI の出版物	16
第 7 章	FAI 種目別賞	16
第 8 章	FAI バッジ	31
第 9 章	FAI 名誉会員	32
第 10 章	FAI 推奨施設	35

第1章 一般規定

1. 1. FAI旗とロゴ

- 1.1.1. FAI航空スポーツ委員会は、それぞれの種目のために自の記章をデザインすることができる。記章の製造及び使用に先立ち、そのデザインはFAI執行役員会で承認されなければならない。
- 1.1.2. 執行役員会の事前の書面による同意を得ずにFAI旗、ロゴまたは記章を、宣伝または商取引に使用することは禁止されている。但し、FAI旗、ロゴまたは記章の使用に関する承認の権限はFAI事務局長またはFAI会員に委譲することができる。
- 1.1.3. FAI旗、ロゴまたは記章に関する全ての契約書の写は、可及的速やかにFAI事務局に送付しなければならない。
- 1.1.4. FAI旗、ロゴまたは記章はFAI会員の地域でFAIに代わって使用することができる。当該会員（イベント主催者を含む）は、これらの使用により生ずる収益を正当に受け取るものとし、その条件は書面による契約により定めるものとする。

1. 2. FAI国際スポーツイベントの権利委譲に関する規則

- 1.2.1. 定款1.8.1.に基づき、FAIはFAIルール及びレギュレーションに全面的あるいは一部則って行われるFAIイベントに関する全ての権利を所有し管理する。FAI会員は、自国におけるFAIイベントのFAI所有権を行使し、定款2.4.2.2.5.に基づき、FAI国際スポーツイベントをFAIスポーツ・カレンダーに登録されるよう要請する。関連航空スポーツ委員会の同意を得た上で、イベントに関する全部あるいは一部のFAI権利をイベント主催者に委譲することができる。但し、下記制限がある。
- 1.2.2. FAIイベントのため、あるいはFAIイベントにおいてFAI権利の利用を希望するイベント主催者は、「主催者契約」(Organizer Agreement)の形で事前にFAIと契約を締結しなければならない。FAI事務局はこの契約の標準書式を所持し、FAI会員あるいはイベント主催者の求めがあれば、入手できるようにしなければならない。
- 1.2.3. FAIが所有し、契約によりイベント主催者に委譲できる権利には以下を含むが、以下に限定されない。
- － FAIイベントでの宣伝、あるいはFAIイベントに関する宣伝
 - － 商業目的でのイベント名あるいはロゴの使用
 - － 音、イメージ、プログラム、データの使用、それは電子的に記録されたもの、別のもの、あるいはリアルタイムに伝達するもの、(特に、FAIのスポーツイベントで使用されている判定、得点、成績評価、あるいは情報の素材、電子、あるいはソフトウェアの使用に関する全ての権利の使用も含む)
- 1.2.4. FAIイベントの主催に関して責任を負う個人あるいは組織は、書面による契約のあるなしに関わらず、上記のFAI所有権を了承しなければならない。書面により権利の委譲が同意されない限り、イベントの全ての権利はFAIが保有する。

- 1.2.5.** 権利の委譲に関する契約に関わらず、FAIは記録保管や普及促進用にFAIスポーツイベントの音や画像を、自由に無料で使用できる。
FAIはまた、主催者に支払いをすることなく、このような目的のために、イベントの全てあるいは一部分を記録したり、映像に収めたり、写真撮影をする権利を保有する。
その費用はFAIが負担する。
- 1.2.6.** FAIは、FAIイベントに関する全てあるいは一部の権利委譲あるいは権利放棄について、FAI会員、あるいは適切なFAI会員から承認された他の組織、あるいはイベント主催者と契約をかわす。定款6.1.2.1.3項に従い、FAI役員が契約書あるいは権利放棄に関する文書に署名する。

1. 3. エアスポーツ・パーソンズの定義

- 1.3.1.** FAIに認められたエアスポーツに取り組んでおり、NACに直接登録されているか、NACに加入しているスポーツ団体に登録されている人。
- 1.3.2.** エアスポーツ・パーソンズとして「登録される」には基本的に3つの方法がある。
- FAIに加盟しているNACへの直接的な個人登録
 - NACに加入している国内連盟への個人登録
 - NAC傘下の地方クラブへの（直接的もしくは間接的な）個人登録
- 1.3.3.** エアスポーツ・パーソンズの定義には、FAI組織内の団体への登録者個人だけでなく、たとえその団体自体がFAI会員でなくとも、FAI会員との間に提携契約あるいはスポーティング・ライセンス契約のある団体への登録者を含む。エアスポーツ・パーソンズの地位は、時にはFAI組織外の団体に所属する個人や、いずれの団体にも所属していない個人にも与えられなければならない場合もある。
- 1.3.4.** しかしながら、いかなる団体にも所属していない個人であるがエアスポーツ・パーソンズである者たち（例えば一部の世界記録申請者たち）は、スポーティング・ライセンスを取得するため、あるいは国内記録の承認を得るためだけであっても、いずれ何らかの形で上記範疇の団体に「登録」しなければならない。ここでいう「登録」とは「会員」であることに限定されるものではない。
「登録」には、エアスポーツ・パーソンズの集計を目的とした、スポーティング・ライセンス発行の様な、より親密でない形態も含まれる場合がある。
しかしながら、「登録」という語には、例えば1回のみ体験飛行や体験ダイビングの訓練を行ったが、その後エアスポーツへ関与することを表明しない人を含むべきとの意図はない。

第2章 FAI会員資格に関する規則および手続き

2. 1. FAI正会員資格の申請

- 2.1.1.** 正会員としてFAIに加盟するには、その会長、事務局長あるいは正当な権限を有する者が署名した必要書類をFAI事務局に提出しなければならない。申請書には以下のものを添付する。
- 2.1.1.1.** - 申請者の定款および定款付則（もしあれば）を、各々2部
 - 2.1.1.2.** - 申請者の役員及び取締役会メンバーの氏名
 - 2.1.1.3.** - 本部の住所
 - 2.1.1.4.** - FAIの質問書に対する回答書
 - 2.1.1.5.** - 加盟を希望する会員区分の初年度の会費
加えて、もし当該国に以前に1回あるいはそれ以上、財務上の義務を履行しない会員が存在し、その結果、FAIから脱退する前5年以内に2回あるいはそれ以上会員資格が保留となる、過去10年以内に正式投票により除名されている場合は、執行役員会の判断により、会費の1年あるいはそれ以上の前払い、あるいは適正に支払いが行われるような条件を課すことができる。
もし申請書が受理されない場合、支払いの全額は払い戻しされる。
もし申請が希望したクラスと違う場合、そして申請者がそれに同意した場合、会費の差額は申請者が支払うか、事情に応じてFAIが返金する。

2. 2. 準会員資格申請

- 2.2.1.** 準会員の資格申請は、定款付則2.1.1.項に規定されている手続と同一の手続による。
- 2.2.2.** 申請には、将来FAIが当該国を代表するものとして正会員を認めた場合、「当該準会員は当該正会員の傘下に入るか、あるいはFAIから脱退する」旨の誓約を盛り込む。
- 2.2.3.** 当該国に既に正会員が存在するが、その正会員がFAIに対して正会員の義務違反をしており、定款2.5.1.1.項の規定により準会員の申請がなされた場合、「当該準会員は当該正会員の傘下に入るか、あるいは現在の正会員、あるいは今後の正会員がFAI正会員資格を満たした場合は、FAIが決定次第速やかにFAIから脱退する」旨の誓約を申請に盛り込む。

2. 3. 暫定会員の申請

2.3.1. 暫定会員資格の申請は、定款付則2.1.1.項に規定する手順と同一の手順に従う。

2.3.2. 申請書には、正会員・準会員の要件を満たすべく努力する旨を明記する。

2. 4. 総会における投票

2.4.1. 3月31日までに会費を支払わなかった会員は、資格が無い。支払いは総会開始の2週間前までにFAI銀行口座に振り込まなければならない。

第3章 委員会に関する規則および手続き

3. 1. FAI委員会会議の代表

- 3.1.1.** 各正会員もしくは準会員はFAI航空スポーツ委員会及び技術委員会（FAI航空スポーツジェネラル委員会を除く）に正代表委員（Delegate）1名及び副代表委員（Alternate Delegate）1名を指名できる。
新指名及びNAC正代表委員あるいは副代表委員の辞職については、遅滞なくFAI事務局に届け出なければならない。
関連FAI会員組織は適切な委任状をFAI事務局に提出しなければならない。
- 3.1.2.** 毎年、指名された正代表委員及び副代表委員全員の最新リストは総会議題、議事録及び付録とともに配布される。
- 3.1.3.** 正代表委員と副代表委員が関係会議に参加できない場合には、いかなる場合でも、正会員及び準会員は、適切な委任状をFAI事務局に提出することにより、当該会議の期間中に正代表委員もしくは副代表委員を代行する代議員を指名することができる。
正代表委員及び副代表委員が、FAIからの全ての公式な連絡を受領することは担保される。併せて、代議員に対して関係する会議の連絡はNACの責任において実施される。
代議員は、代表委員もしくは副代表委員と同等の選挙権を保持する。
しかしながら、代議員を委員会事務局の機能を果たす役割に選出することはできない。
- 3.1.4.** FAI航空エアスポーツ委員会または技術委員会に代表委員を指名していない正会員あるいは準会員は、投票権を有しないオブザーバーとして委員会の会議に出席できる。
- 3.1.5.** オブザーバーは委員長の許可を得て、委員会の会議に出席できる。
オブザーバーは投票権を有せず、委員長の許可を得た上で発言できる。
- 3.1.6.** FAI会員が会員国の国民あるいは会員国在住者を代表委員として指名できない場合、他国の国民あるいは他国在住者を指名することができる。
但し、この場合は指名する国のFAI会員の事前の承認を必要とし、また指名を受けた個人は過去3年間他国のFAI会員の代表を務めていなかった事が条件となる。
- 3.1.7.** 各航空スポーツ委員会は、各技術委員会に出席する代表者を指名できる。
この代表者は会議の資料を受領でき、発言はできるが、投票権は持たない。

3. 2. FAI航空スポーツ委員会および技術委員会の役員

- 3.2.1.** 各FAI航空スポーツ委員会及び技術委員会は、通常、以下の役員から構成される委員会事務局を設置する。
- － 委員長 (President)
 - － 副委員長1名以上 (Vice-President)
 - － 書記1名以上 (Secretary)
 - － その他各航空スポーツ委員会で適切に個別に規定された役員
- 3.2.2.** 委員会の会議と会議の間に“局”が一定の責任を果たさなければならない場合、権限の委譲およびその結果の委任については、その上部機関によって明確に定めるものとする。
- 3.2.3.** 委員会事務局が行った決議は、参考のためにFAI事務局に直ちに伝えられ、当該委員会によって、その後記録される。
- 3.2.4.** 各委員会は、承認された代表委員もしくは現委員長の中から、委員長を選出する。もし委員会が対面で開催され、かつ、候補者が1名の場合、資格のある代表委員あるいは副代表委員から無記名投票の要求がなければ、選挙は発声投票（注：声や拍手によって満場一致の賛意を表す）により行なうことができる。もし委員会が電子的な手段を使用してバーチャル開催される場合、（例えば、親指を立てる絵文字“いいね”）などの肯定的な絵文字の使用により賛意を表すことができる。複数の候補者がいる場合、あるいは資格のある代表委員あるいは副代表委員により無記名投票の要求がある場合、選挙は無記名投票で行なわれる。1回目の投票で絶対過半数が得られない場合は、2回目の投票が行われ最多得票者が委員長に選出される。
- 3.2.5.** 委員長は、何期でも再選でき、選出と同時にその任に就く。
- 3.2.6.** FAI委員会の委員長は、以下の義務を有する。
- 3.2.6.1.** ー 主宰する委員会を代表する。
- 3.2.6.2.** ー 委員会の会議中、議事を進行し、FAI定款、定款付則、スポーツ規定及び内部規（もし、あれば）の遵守を計る。但し、3.3.7.項に規定する場合を除き、投票は行わない。
- 3.2.6.3.** ー 当該委員会が行った活動に関する年次報告書を作成し、総会に提出する。要請された場合、委員長は、自ら口頭により総会で報告する。更にFAI総会、FAI執行役員会またはFAI会長から要求された場合は特別報告を行う。
- 3.2.6.4.** ー 委員会書記が作成した会議議事録もしくは決議録を再度チェックし、FAI事務局に承認版が提出されたかを確認する。これは、会議終了後60日以内に行われなければならない。
- 3.2.6.5.** ー 委員会委員長は、在任期間中はFAI会員の代表委員として当該国を代表することはできない。委員長がその任にある期間、副代表委員もしくは別の代表者が当該国を代表し、投票権を行使する。

- 3.2.6.6.** - 航空スポーツ委員会の委員長は、FAIの副会長となる。
- 3.2.7.** 各FAI航空スポーツ委員会及び技術委員会は、前委員長に名誉委員長の称号を授与することができる。
名誉委員長は、自己がかつて代表を務めていたFAI会員が同意する場合は、当該委員会の会議にその後も出席することができる。
- 3.2.8.** 各FAI航空スポーツ委員会及び技術委員会は、多数決投票で代表委員の中から1名あるいは複数の副委員長を選ぶ。
候補者が1名のみの場合、資格のある代表委員あるいは副代表委員から無記名投票の要求がなければ、選挙は発声投票（注：声や拍手によって満場一致の賛意を表す）により行なうことができる。
複数の候補者がいる場合、あるいは資格のある代表委員あるいは副代表委員により無記名投票の要求がある場合、選挙は無記名投票で行なわれる。
- 3.2.9.** 副委員長は、委員長としての役割りを担う場合を除き、自らが代表委員を務めるFAI会員国を引き続き代表する。
- 3.2.10.** 副委員長は、何期でも再選でき、選出と同時にその任に就く。
- 3.2.11.** 委員会の書記は、多数決投票で選出され、何期でも再選できる。
候補者が1名のみの場合、資格のある代表委員あるいは副代表委員から無記名投票の要求がなければ、選挙は発声投票（注：声や拍手によって満場一致の賛意を表す）により行なうことも可能である。
複数の候補者がいる場合、あるいは資格のある代表委員あるいは副代表委員により無記名投票の要求がある場合、選挙は無記名投票で行なわれる。
- 3.2.12.** 書記は、FAI代表権（スポーツ規定総則編第8章1.3.6）の定めによりスポーツライセンスを発行する責任を負う会員の同意を得て、委員会以外の者から選ぶことができる。
- 3.2.13.** 書記は、各会議の議事録草案もしくは決議録を作成し、定款付則3.4.6.に留意した上で、当該会議終了日からできるだけ早く委員会の委員長に送付する責任を有する。
- 3.2.14.** 書記は、代表委員でない場合は投票権を有しない。

3. 3. 委員会の投票規則

- 3.3.1.** 3.1.項および3.2.項の規定により、FAI航空スポーツ委員会あるいは技術委員会の代表委員は1人1票の投票権を有する。
代表委員がこの権利を行使できない場合、3.1.項および3.2.項の規定に従い、副代表委員が代表委員に代わって投票することができる。
- 3.3.2.** 副代表委員が出席できず、3.1.3.項に基づいた代理人も指名されない場合、委員会の委員長（委員長は委任を受けて投票する権利を有しない）以外の他の会員国の代表委員に委任することができる。

書面による委任状の提出が求められ、委任状には当該会員組織の会長あるいは事務局長の署名が必要である。

- 3.3.3. 1名のデレゲートが委任を受けて投票できるのは他の1会員国のみとする。
- 3.3.4. (1993年に削除)
- 3.3.5. 会議に出席している代表委員またはその代理人のうちの誰か1名が無記名投票を要求した場合は、それに従う必要がある。
- 3.3.6. 委員会の内部規則に別段の定めがない限り、絶対過半数により議決される。
- 3.3.7. 2回連続して同数投票の場合は、委員長が決定票を投じるものとし、これに対する訴えは認められない。
- 3.3.8. FAI表彰を授与するための投票規則は、本定款付則の他章に別途定める特別規定に従う。

3. 4. 委員会の一般手続き

- 3.4.1. 委員会は、委員長、あるいは委員長不在の場合は上級副委員長により召集され、開催される。
- 3.4.2. 会議の招集通知は、会議開催日の45日以前の適切な時期に、FAI事務局より、全ての委員会の資格のある代表委員に送付されなければならない。
- 3.4.3. FAI航空スポーツジェネラル委員会を除く委員会は、通常FAI事務局あるいは事務局に近接した場所で会議を開く。
FAI事務局以外の場所での開催を検討する場合は、当該国への自由入国が決定要素となる。他の場所での会議開催が過半数 (> 50%) の賛成票で議決された場合、委員会はFAI事務局長に通知し、開催時期を相談する。いかなる場合でも3年に1度はFAI事務局に近接した場所で委員会を開催することになっている。
加えて、開催組織は、FAI事務局長あるいは事務局長が認可した代表者について、FAI事務局から開催場所までの旅費、宿泊費、及び必要経費を含む全ての費用を支払う。
会議をFAI事務局以外で開催する場合、開催組織は会議に関連したサービスや行事への登録料を課すことができる。
しかしながら、登録していないという理由で、代表委員として承認されている者の委員会総会あるいは分科会への出席を拒否することはできない。
FAI航空スポーツジェネラル委員会はFAI総会と一緒に開催されねばならない。
- 3.4.4. 各委員会の会議の議題詳細は委員長の指示により作成され、会議開催日の45日以前にFAI事務局により委員会の資格のある全代表委員および全FAI会員に配布できるよう、FAI事務局に送付しなければならない。
議題にない項目について委員会総会で最終決定することはできない。
投票により、出席している代表委員の3分の2以上が賛成した場合、議題への追加項目として認められる。
- 3.4.5. 委員会は、助言を受けるために専門家に出席を要請できる。

- 3.4.6.** 各会議の議事録もしくは決議録は会議後60日以内にFAI事務局に提出され、定款付則6.1.1.に従い、速やかに発行通知がFAI事務局から委員会の全メンバー及びFAI全会員に送付されなければならない。

3. 5. 小委員会およびワーキング・グループに関する規則

- 3.5.1.** 小委員会及びワーキング・グループの委員長職には、通常、当該小委員会またはワーキング・グループを設置した委員会の代表委員が就任する。
委員会（定款5.1.2.8による）により選択された事務所の期間次第で、委員長は毎年その上部機関により1年もしくは2年選出され、再選を可能とする。
- 3.5.2.** 小委員会またはワーキング・グループ委員長の地位に当該委員会の代表委員が就任しない場合は、委員長の指名は、その候補者が属するFAI会員国の代表委員の同意を得た上で行う。
- 3.5.3.** 小委員会またはワーキング・グループの提案はいずれもその委員会の承認を必要とする。

3. 6. CIACA委員会の明確な活動範囲

- 3.6.1.** 他の委員会の活動範囲との混乱を避ける為に、CIACA（FAIアマチュアビルト・エクスペリメンタル航空機委員会）の活動範囲は以下のように定義される：
- 3.6.1.1.** 他の委員会との活発な協力と市場開拓
- 3.6.1.2.** FAIの目的と目標への貢献（例えば、教育活動、調整問題、FAI委員会と会員組織との協力等）
- 3.6.1.3.** 古い価値のある航空機の復元と修復、と同様にアマチュアビルト／自作航空機的设计、製作、管理の促進
- 3.6.1.4.** アマチュアビルト／自作もしくは修復された航空機の、航空機製作競技と／もしくは、飛行競技の為に最新のスポーツ規定と規則の制定と管理
- 3.6.1.5.** アマチュアビルト／自作航空機を使用しての世界記録達成の為に他のFAI航空スポーツ委員会との協力
- 3.6.1.6.** FAI、FAI正会員と航空スポーツ委員会への専門的技術と助言の提供
- 3.6.1.7.** 最新技術を使用した航空機のスポーツ・パフォーマンスの達成の促進
- 3.6.1.8.** 最新技術の観察の提供

第4章 事務局長およびFAI事務局

4. 1. 一般規定

- 4.1.1. FAI事務局長はFAI事務局活動の責任を負う。
FAI事務局長の責任と権限全般はFAI定款第8章に規定されている。

4. 2. 特別責任

- 4.2.1. 事務局長の指示のもと、組織の目標及び目的を促進するに当たり、FAIの全領域を支援する。
- 4.2.2. FAIの文書類を保管する。
- 4.2.3. 全ての航空記録及び宇宙記録を認定する。
- 4.2.4. FAIの会計を遅滞なく管理し、定款7.3.1.項に記載の通り、執行役員会が発する権限にもとづき、事務局の日常活動に必要な決済業務を行う。
- 4.2.5. FAIに支払われるべき全ての支払い金を徴収し、権限がある者の署名を得るための書類を作成する。
- 4.2.6. FAIの構成組織及び航空スポーツ社会全般に関連したFAI活動の必要性に応じ、電子伝達手段（インターネットを含む）を確立し、管理し、最新の内容を保持する。

4. 3. FAI使用言語

- 4.3.1. 英語及び（あるいは）フランス語がFAI事務局の日常業務及びその文書に使用される。

第5章 FAI事業活動

5. 1. FAIの方針

- 5.1.1.** FAIの収入を得ることが重要ではあるものの、様々な計画、航空スポーツ、航空スポーツ競技会、及びより良い活動を追求することが、FAIの基本的な存在意義である。事業計画はこれらの目的を支援するためのものであり、とって代わるものではない。
- 5.1.2.** FAI執行役員会は、事業計画を検討し、その実行のための契約を承認、実施することができる。
- 5.1.3.** 会員の地域で実施される事業計画については、事前に当該会員と協議しなければならない。

5. 2. 収益の配分

- 5.2.1.** スポーツ競技会からの収益の配分は、当該競技会の主催者契約に規定される。

第6章 FAIの出版物

6. 1. 一般規定

- 6.1.1.** FAIは、その活動及び会議に関する情報、最新の航空記録及び宇宙記録の一覧に関する情報を、最も適切かつ利用可能な媒体を通じて発表する。
FAI事務局は、全てのFAI情報の発表に対し責任を有する。
- 6.1.2.** FAIは、前年度の主要な行事、例えば、執行役員選挙、会長報告、委員会報告、FAI選手権の結果、メダル及び賞状、年次総会の要約及び決定、委員会代表委員の名簿、会員資格の変更、FAIカレンダー、及びその他の関連事項を、毎年公表する。
- 6.1.3.** 雑誌等その他の出版物は、執行役員会の承認を得て発行することができる。

第7章 FAI種目別賞

7. 1. 一般規定

7.1.1. 本章に記載されているFAIのメダル及び賞状は、関連の航空スポーツ委員会あるいは技術委員会の決定によってのみ授与される。

7.1.2. 推薦権利のある組織(定款9.1.3)は、250単語以内の推薦文と必要とされている補足情報を添えて、全てのFAI種目別賞の推薦をFAI事務局に提出する。

FAI定款付則7.2から7.13で述べられている明確な手順を従った上で、推選はFAI委員会の関連する会議の60日前までに到着しなくてはならない。

規定された60日の期限を経過した後に、特定の表彰部門の推薦が受理されない場合には、FAI定款9.1.3.2.に従うことを条件として、FAI委員会の関連する会議の45日前までに、それぞれのFAI委員会委員長が当該表彰部門に推薦できる。

当該推薦とその推薦文は、委員会の会議の議題とされ、FAI事務局に送付されなければならない。

情状酌量の余地がある場合には、各委員会の本会議で、1年間の延長を決定できる。

7. 2. 気球の賞

(FAI国際気球委員会により承認される)

7.2.1. モンゴルフィエ・バルーニング・ディプロマ

7.2.1.1. 歴史：本賞は、1960年にFAIにより制定されたもので、1783年世界で初めて人が乗る飛行機である熱気球の製作に成功したジョゼフおよびエティエンヌ・モンゴルフィエにちなんで名付けられた。

7.2.1.2. 資格、授与頻度及び数：以下の各々の功績に対し、毎年4つのモンゴルフィエ・ディプロマが授与される。

7.2.1.2.1. - ガス気球で前モンゴルフィエ年度に最善のスポーツパフォーマンスを成し遂げた

7.2.1.2.2. - 熱気球で前モンゴルフィエ年度に最善のスポーツパフォーマンスを成し遂げた

7.2.1.2.3. - ロジェ気球で前モンゴルフィエ年度に最善のスポーツパフォーマンスを成し遂げた

7.2.1.2.4. - 気球スポーツ全般の発展に多大な貢献をした

7.2.1.2.5. モンゴルフィエ年度はUTC (*協定世界時)で11月21日に始まり11月20日に終わる。

* 訳注：協定世界時 (Coordinated Universal Time) 国際協定により人工的に維持されている世界共通の標準時

7.2.1.3. 推薦及び承認：推薦方法は定款第9章に従うものとするが、さらに下記条件が加わる。

7.2.1.3.1. FAI各会員は上記7.2.1.2.に定められたカテゴリーについて各1名ずつ、計4名の候補者を推薦することができる

7.2.1.3.2. 候補者はいずれも推薦する会員国の国民又は居住者であること。
候補者は個人でもチームでもよい。
パフォーマンスに対する表彰の場合、チームはパイロット (Pilot-in-Command) 及びその他のフライト・クルーで構成されるが、そのうち少なくとも1名は推薦会員国の国民又は居住者であること。異なる国籍のクルーでチームが構成されている場合、推薦するFAI会員は、関係FAI会員から書面による承諾を取得する。

7.2.1.3.3. ディプロマがチームに授与される場合はチームメンバー全員にディプロマが授与される。

7.2.1.3.4. モンゴルフィエ・ディプロマは同一の個人またはチームに1回以上授与できるが、同一カテゴリー内での授与は1回のみ。

7.2.2. サントス・デュモン・ゴールド・エアシップ・メダル

7.2.2.1. 歴史: 本メダルは1901年10月19日に飛行船でパリのエッフェル塔の回りを回るという歴史的な飛行を行い、ドイツ賞 (Deutsch Prize) を獲得するなど飛行船スポーツの発展に貢献したアルベルト・サントス・デュモンの栄誉を称え、1994年に制定された。メダル100個がヴァージン・アイランド航空クラブより寄贈されている。

7.2.2.2. 資格、授与頻度及び数: 毎年1つ授与される。

7.2.2.2.1. - 飛行船で前モンゴルフィエ年度(12.2.1.2.5.項参照)に最善のスポーツパフォーマンスを成し遂げた。

7.2.2.2.2. - 飛行船による飛行スポーツ一般の発展に大きく貢献した。

7.2.2.2.3. メダルは、優れたスポーツパフォーマンスを伴う、一連のパフォーマンスに対して授与される。

7.2.2.3. 推薦及び承認: 推薦方法は定款第9章に従うものとするが、さらに下記条件が加わる。

7.2.2.3.1 FAI各会員は、1名の候補者を推薦できる。

7.2.2.3.2. 候補者はいずれも推薦する会員国の国民又は居住者であること。
候補者は個人でもチームでもよい。
パフォーマンスに対する表彰の場合、チームはパイロット (Pilot-in-Command) 及びその他のフライト・クルーで構成されるが、そのうち少なくとも1名は推薦会員国の国民又は居住者であること。
異なる国籍のクルーでチームが構成されている場合、推薦するFAI会員は、関係FAI会員から書面による承諾を取得する。

7.2.2.3.3. メダルがチームに授与される場合はチームメンバー全員にディプロマが授与される。

7. 3. ジェネラル・アヴィエーションの賞

(FAIジェネラル・アヴィエーション委員会により承認される)

7.3.1. チャールズ・リンドバーグ・ジェネラル・アヴィエーション・ディプロマ

7.3.1.1. 歴史：本賞は、FAIジェネラル・アヴィエーション委員会の提言に基づき1983年にFAIにより制定された。

7.3.1.2. 資格：リンドバーグ・ディプロマは、毎年、下記に授与される。

7.3.1.2.1. - 航空スポーツまたは航空輸送の分野、あるいはジェネラル・アヴィエーションに関係する国際機関の業務において、ジェネラル・アヴィエーションの進歩と発展に10年以上に亘り多大な貢献をしてきた個人あるいは組織

7.3.1.2.2. - ジェネラル・アヴィエーションの分野において、一般的な進歩を促し、運航効率や安全運航に役立つ新しい概念や装置の研究及び開発を促すような技術を飛躍的に進歩させたことが認められる場合

7.3.1.2.3. 授与頻度及び数：毎年1つのみ授与される。

7.3.1.3. 推薦及び承認：手続きは、定款第9章の規定に従う。

7. 4. グライディングの賞

(FAIグライディング委員会により承認される)

7.4.1. リリエントール・メダル

7.4.1.1. 歴史：本メダルはグライダー先駆者として有名なオットー・リリエントールにちなみ、1938年にFAIにより制定された。

7.4.1.2. 資格：グライディングにおいて特に優れたパフォーマンスを行った、あるいはグライディングに対して顕著な貢献を行った現役のグライダーパイロットに対して授与される。

7.4.1.2.1. - 前年中に国際的な記録を樹立した者、あるいは

7.4.1.2.2. - 先駆的な飛行（グライダー及び／あるいはグライディング技術に関し、新しい可能性を切り開いた飛行）を行った者、あるいは

7.4.1.2.3. - グライディング・スポーツに関して、長期間に亘り顕著な貢献を行った者

7.4.1.3. 授与頻度及び数：毎年1個のみ授与される。

7.4.1.4. 推薦および承認：手続きは、定款第9章の規定に従う。

7.4.2. ペラージャ・マジョースカ・グライディング・メダル

- 7.4.2.1.** 歴史：本メダルはペラージャ・マジョースカ夫人を偲んで、ポーランド航空クラブからの提案に基づき、1989年にFAIにより制定された。
ペラージャ・マジョースカ夫人はポーランドの著名なグライダーパイロットであり、1960年にリリエントール・メダルを授与され、17のグライダー世界記録保持者であったが、1988年、航空事故により死亡した。
メダルはポーランド航空クラブからFAIに提供される。
- 7.4.2.2.** 資格：本メダルは、下記の女性グライダーパイロットに毎年授与される。
- 7.4.2.2.1.** - 前年中に、グライダーで特に顕著なパフォーマンスを行った、あるいは
- 7.4.2.2.2.** - 長期間に亘り、グライディングに顕著な貢献があった
- 7.4.2.3.** 授与頻度及び数：毎年1つのみ授与される。
- 7.4.2.4.** 推薦及び承認：手続きは、定款第9章の規定に従う。

7.4.3. **ピラート・ゲーリガー・ディプロマ**

- 7.4.3.1.** 歴史：本賞は、国際グライディング委員会初代会長ピラート・ゲーリガーを偲んで2000年にFAIにより制定された。
- 7.4.3.2.** 資格：国際的なグライディングへの顕著な功績に対し、毎年授与される。
- 7.4.3.3.** 授与頻度及び数：通常、毎年、1つのみ授与されるが、例外として、国際グライディング委員会は更に1つか2つの追加授与を推薦できる。
- 7.4.3.4.** 推薦及び承認：手続きは、定款第9章の規定に従う。

7. 5. **ロータークラフトの賞**

(FAIロータークラフト委員会により承認される)

7.5.1. **FAIゴールド・ロータークラフト・メダル**

- 7.5.1.1.** 歴史：本メダルはFAIロータークラフト委員会の提案により、1993年にFAIにより制定された。
メダルは当委員会により提供される。
- 7.5.1.2.** 資格：本メダルは、スポーツ航空機としての使用を含め、ロータークラフトでの顕著な業績、あるいは長年にわたるロータークラフトの発展に対する顕著な貢献に対して授与される。
- 7.5.1.3.** 授与頻度及び数：毎年、1つのみ授与される。
- 7.5.1.4.** 推薦及び承認：推薦は毎年11月30日までにFAI事務局に到着しなくてはならない。
その他の点では、手続きは、定款第9章の規定に従う。

7. 6. パラシューティングの賞

(FAIパラシューティング委員会により承認される)

7.6.1. FAIゴールド・パラシューティング・メダル

7.6.1.1. 歴史：本メダルは1968年1月にFAIにより制定された。メダルの費用は、FAIパラシューティング委員会名誉会長であるJ.A.Istel氏（ジェイ・エイ・イステル）が寄付した1万米ドルの基金で当初賄われた。初期の基金が終了した後は、USPA（全米パラシュート協会）がメダルの資金提供を引き継ぐことを決定した。

7.6.1.2. 資格：本メダルはパラシューティングに関する顕著な業績に対して、毎年授与される。パラシューティングスポーツ分野での業績、安全向上に対する業績、あるいは委員会が認める創意工夫が対象となる。
FAIパラシューティング委員会の代表委員には授与されない。

7.6.1.3. 授与頻度及び数：毎年、1つのみ授与される。

7.6.1.4. 推薦及び承認：推薦はパラシューティング委員会の会議の60日前までにFAI事務局に到着しなくてはならない。
その他の点では、手続きは、定款第9章の規定に従う。

7.6.2. レオナルド・ダ・ヴィンチ・パラシューティング・ディプロマ

7.6.2.1. 歴史：本賞はFAIにより1970年に制定された。

7.6.2.2. 資格：一つの賞状が毎年以下の基準のひとつを達成した者に授与される：

7.6.2.2.1. カテゴリー1競技会において少なくとも2回、個人優勝者、もしくは優勝チームのメンバーになった者

7.6.2.2.2. - 少なくとも3回、パラシューティング世界記録を樹立した者、

7.6.2.2.3. - カテゴリー1競技会において少なくとも3回、FAI / IPCの役員（主席審判員、FAIパラシューティング審判員、FAI管理者、国際審査員もしくはそれらの組み合わせ）を経験した者

7.6.2.2.4. - カテゴリー1競技会において少なくとも3回、競技委員長を経験した者

7.6.2.2.5. - 少なくとも6年間、IPC委員会の議長（IPC内部の規則6.7）もしくはIPC事務局員、もしくはそれらの組み合わせを経験した者

7.6.2.3. 授与頻度及び数：毎年、1つのみ授与される。

7.6.2.4. 推薦及び承認：推薦はパラシューティング委員会の会議の60日前までにFAI事務局に到着しなくてはならない。その他の点では、手続きは、定款第9章の規定に従う。

7.6.3. ファウスト・ヴランチッチ・メダル

7.6.3.1. 歴史：本メダルはファウスト・ヴランチッチを偲んで、クロアチア航空連盟の提案により、2001年に制定された。

7.6.3.2. 資格：本メダルはFAIパラシューティング委員会の決定により、パラシューティングの技術革新あるいは業績に対し授与される。
FAIパラシューティング委員会の代表委員には授与できない。

7.6.3.3. 授与頻度及び数：毎年、1つのみ、クロアチア航空連盟より授与される。

7.6.3.4. 推薦及び承認：推薦はパラシューティング委員会の会議の60日前までにFAI事務局に到着しなくてはならない。その他の点では、手続きは、定款第9章の規定に従う。

7. 7. エアロモデリング（模型航空機）の賞

(FAI国際模型航空委員会により承認される)

7.7.1. FAIエアロモデリング・ゴールド・メダル

7.7.1.1. 歴史：本メダルは1987年に制定された。

7.7.1.2. 資格：本メダルは組織活動において顕著な功績をあげたFAI会員国の模型航空家で、以下に該当する者に対して毎年授与される。

7.7.1.2.1. - 世界選手権あるいは大陸選手権で競技委員長あるいは同等の任務を少なくとも2回務めた、あるいは、

7.7.1.2.2. - 世界選手権あるいは大陸選手権でFAI陪審員（JURY）の任務を少なくとも3回務めた、あるいは、

7.7.1.2.3. - 世界選手権あるいは大陸選手権で審判あるいは同等の任務を少なくとも5回務めた、あるいは、

7.7.1.2.4. - FAI国際模型航空委員会の代表委員、あるいは同委員会で他の任務を少なくとも3年以上務めた、あるいは

7.7.1.2.5. - 組織的な活動により模型航空の発展に顕著な功績があった

7.7.1.3. 授与頻度及び個数：毎年、1個のみ授与される。

7.7.1.4. 推薦及び承認：推薦書に前年12月31日までの候補者の活動に関する関連情報を記載し、毎年11月15日までにFAI事務局に提出する。
規定の推薦書はFAI事務局で入手可能。
その他、手続き方法は、定款第9章の規定に従う。

7.7.2. アンドレイ・ツポレフ・エアロモデリング・メダル

7.7.2.1. 歴史：本メダルは1989年に制定された。

7.7.2.2. 資格：同一年に同一模型航空クラスの世界模型航空選手権、及び国内模型航空選手権の両方に優勝した全ての模型航空家に授与される。

7.7.2.3. 授与頻度及び個数：毎年1個のみ授与される。

7.7.2.4. 推薦と承認：推薦書に前年12月31日までの候補者の活動に関する関連情報を記載し、毎年11月15日までにFAI事務局に提出する。
規定の推薦書はFAI事務局で入手可能。
その他、手続き方法は、定款第9章の規定に従う。

7.7.3. アルフォンス・ペノー・エアロモデリング・ディプロマ

7.7.3.1. 歴史：本賞は1979年FAIにより制定され、1980年に改正された。

7.7.3.2. 資格：本賞は模型航空で素晴らしい業績を収めたFAI会員国の模型航空家で、以下に該当する者に対して、毎年授与される。

7.7.3.2.1. - 少なくとも国内選手権者のタイトルを連続3回獲得した者、あるいは、

7.7.3.2.2. - 少なくとも世界選手権者のタイトルを1回獲得した者、あるいは、

7.7.3.2.3. - 少なくとも3つの世界記録を樹立した者、あるいは、

7.7.3.2.4. - その他、顕著なスポーツ記録を達成した者

7.7.3.3. 授与頻度及び数：毎年1つのみ授与される。

7.7.3.4. 推薦及び承認：推薦書に前年12月31日までの候補者の活動に関する関連情報を記載し、毎年11月15日までにFAI事務局に提出する。
規定の推薦書はFAI事務局で入手可能。
その他、手続き方法は、定款第9章の規定に従う。

7.7.4. アントノフ・エアロモデリング・ディプロマ

7.7.4.1. 歴史：本賞は、1987年に制定され、ロシアの正会員からFAIに毎年寄贈される。

7.7.4.2. 資格：本賞は航空模型において技術革新を成し遂げたFAI会員国の模型航空家に授与される。
アントノフ・ディプロマは別の年に成された異なる内容の技術革新であれば、同一人物であっても何度でも授与される。

7.7.4.3. 授与頻度及び数：毎年1つのみ授与される。

7.7.4.4. 推薦及び承認：推薦書に前年12月31日までの候補者の活動に関する関連情報を記載し、毎年11月15日までにFAI事務局に提出する。
規定の推薦書はFAI事務局で入手可能。
その他、手続き方法は、定款第9章の規定に従う。

7.7.5. **アンドレイ・ツポレフ エアロモデリング・ディプロマ**

7.7.5.1. 歴史：本賞は1989年に制定され、ロシアのFAI会員からFAIに毎年寄贈される。

7.7.5.2. 資格：模型航空における顕著な記録を達成したFAI会員国の模型飛行家に毎年授与される。

7.7.5.3. 授与頻度及び数：毎年1つのみ授与される。

7.7.5.4. 推薦及び承認：推薦書に前年12月31日までの候補者の活動に関する関連情報を記載し、毎年11月15日までにFAI事務局に提出する。
規定の推薦書はFAI事務局で入手可能。
その他、手続き方法は、定款第9章の規定に従う。

7.7.6. **フランク・エリング・ディプロマ**

7.7.6.1. 歴史：フランク・エリング・ディプロマは1999年に制定され、米国AMA (Academy of Model Aeronautics) から寄贈される。フランク・V・エリングの名誉を称えるために設けられた賞で、彼の扱い易い模型機は3大陸で大いに使用された。

7.7.6.2. 資格：本賞は、模型航空機に関連して、航空の普及・発展に顕著な功績を成し遂げた組織あるいは個人に毎年授与される。

7.7.6.3. 授与頻度及び数：毎年1つのみ授与される。

7.7.6.4. 推薦と承認：推薦書に前年12月31日までの候補者の活動に関する関連情報を記載し、毎年11月15日までにFAI事務局に提出する。規定の推薦書はFAI事務局で入手可能。
その他、手続き方法は、定款第9章の規定に従う。

7. 8. **エアロバティックの賞**

(FAI国際曲技飛行委員会により承認される)

7.8.1. **レオン・ビアンコット・エアロバティック・ディプロマ**

7.8.1.1. 歴史：本賞はFAIエアロバティック委員会の提案により1993年2月に制定された。
レオン・ビアンコットはフランスのエアロバティック・チームの一員であり、名エアロバティック・パイロットの一人として広く認められていた。
彼は1960年チェコスロバキアのブラティスラバで開催された第1回FAIエアロバティック世界選手権の練習中に死亡した。
ビアンコットはイギリスで開催された6回の試合の内3回、有名なロッキード・エアロバティック・トロフィーを獲得した。

1965年、ピアンコット・トロフィーとして知られる試合が始まり、後にこれがエアロバティック・ヨーロッパ選手権となった。

7.8.1.2. 資格: 本賞はエアロバティック・スポーツに多大な貢献をした個人又は組織に授与される。

7.8.1.3. 授与頻度及び数: 毎年1つのみ授与される。

7.8.1.4. 推薦及び承認: 受賞者の選考手続は、定款第9章の規定に従う。

7. 9. 宇宙航空の賞

(FAI宇宙記録委員会により承認される)

7.9.1. ユー・エー・ガガーリン・ゴールド・メダル

7.9.1.1. 歴史: 本メダルは、1961年4月12日に人類初の有人宇宙飛行を成し遂げた宇宙飛行士ユー・エー・ガガーリンを讃えて1968年にFAIにより制定された。ガガーリンは訓練飛行中の悲劇的な航空機事故により1968年3月27日に死去した。

7.9.1.2. 資格: ユー・エー・ガガーリン・ゴールドメダルは毎年授与され、前年に人類の宇宙征服において最も偉大な業績を成し遂げた宇宙飛行士が対象となる。

7.9.1.3. 授与頻度及び数: 通常、毎年1つのみ授与される。例外的に2つまで授与可能。

7.9.1.4. 推薦及び承認: 手続きは、定款第9章の規定に従う。

7.9.2 V.M.コマロフ・ディプロマ

7.9.2.1. 歴史: 本賞は、1964年にヴォスホート1号の宇宙飛行世界記録に参加し宇宙飛行中に死亡したソビエトの宇宙飛行士コマロフを讃えて、1970年にFAIにより制定された。

7.9.2.2. 資格: 本賞は前年中に宇宙空間探索において、顕著な業績を成し遂げた宇宙飛行士、同乗のクルーに授与される。

7.9.2.3. 授与頻度及び数: 毎年、最大限3クルーまで。

7.9.2.4. 推薦及び承認: 毎年、FAI会員は関係書類を添付して、候補者2名（多座機のクルー）の氏名を提出できる。推薦は、定款第9章の規定に従い、FAI宇宙記録委員会により取り扱われる。

7.9.3. コロリョフ・ディプロマ

7.9.3.1. 歴史: 本賞はFAI宇宙記録委員会の提案により、1988年に制定された。

7.9.3.2. 資格：宇宙船内部や天体上で仕事をしたり、構造物やその備品を建造したり、ミッションを継続するために予想外の故障や壊れた装置の修理を行う等、宇宙空間における人類働きを実証した技術者やエンジニアに授与される。

7.9.3.3. 授与頻度及び数：毎年、1つのみ授与される。

7.9.3.4. 推薦および承認：手続きは、定款第9章の規定に従う。

7.9.4. オディッセイ・ディプロマ

7.9.4.1. 歴史：本賞はFAI宇宙記録委員会の提案に基づき、1988年に制定された。

7.9.4.2. 資格：宇宙空間あるいは天体上で、宇宙空間における人類の生命を保護あるいは保護する可能性のあるような行動、業績、あるいは仕事を行った個人あるいはグループに授与される。

7.9.4.3. 授与頻度及び数：毎年、1つのみ授与される。

7.9.4.4. 推薦及び承認：手続き方法は、定款第9章の規定に従う。

7.9.5. ディプロマ・フォー・アウトスタンディング・パフォーマンス イン・アストロノーティックス

7.9.5.1 歴史：本賞はFAI宇宙記録委員会の提案により、2016年に制定された。

7.9.5.2 資格：カーマン・ラインを越えた場所において顕著なパフォーマンスを行った、職業としての宇宙飛行士（政府より資金援助を受ける者、あるいはSpaceXといった企業のクルー）に授与される。

役割に関わらず、前述の職場にて、長年に渡り厳しい選抜と訓練課程を経験したであろうことから、彼らの達成したことは、彼らのこれからの経歴の中での1つのハイライトとなると思われる。

7.9.5.3 授与頻度及び数：パフォーマンスを終えた宇宙飛行士に授与される。

7.9.5.4 推薦及び承認：FAIディプロマ・フォー・アウトスタンディング・パフォーマンス・イン・アストロノーティックスの申請は、FAI事務局員より入手できる定型の申請書を使用し、随時FAI宇宙記録委員会より行える。

申請はFAI会長もしくは事務局長の承認を必要とする。

ディプロマは、然るべきFAI行事もしくは国家行事において贈呈される。

7. 10. ハンググライディング・パラグライディングの賞

(FAIハング-グライディング・パラグライディング委員会により承認される)

7.10.1. ペペ・ロペス・メダル

- 7.10.1.1.** 歴史：本メダルは1981年のハンググライディング世界選手権者であるブラジルのペドロ・パウロ（ペペ）・ロペスを偲んで制定された。
国際競技の重要な中心地として発展途上にあるブラジルで、彼の活動力と人間性は重要な役割を果たした。
彼は1991年、日本で開催されたハンググライディング競技中に死亡した。
このメダルはFAI国際ハング・パラグライディング委員会が手配する。
- 7.10.1.2.** 資格：本メダルはハンググライディング及びパラグライディングスポーツにおけるスポーツマンシップ、あるいは国際協調において顕著な貢献があった場合に授与される。
- 7.10.1.3.** 授与頻度及び数：毎年、1つのみ授与される。
- 7.10.1.4.** 推薦及び承認：手続きは、定款第9章の規定に従う。
- 7.10.2. FAIハンググライディング・パラグライディング・ディプロマ**
- 7.10.2.1.** 歴史：本賞は1979年にFAIにより制定された。
- 7.10.2.2.** 資格：飛行達成のために創意工夫し、活動し、リーダーシップを発揮するなど、ハンググライディングおよび／またはパラグライディングの発展に顕著な貢献があった個人に対し授与される。
- 7.10.2.3.** 授与頻度及び数：毎年、1つのみ授与される。
- 7.10.2.4.** 推薦及び承認：手続きは、定款第9章の規定に従う。

7. 11. マイクロライト・パラモーターの賞

(FAI国際マイクロライト・パラモーター委員会により承認される)

- 7.11.1. コリブリ・ディプロマ**
- 7.11.1.1.** 歴史：本賞は、FAIマイクロライト委員会の提案に基づき、1983年にFAIにより制定された。
- 7.11.1.2.** 資格：マイクロライトもしくはパラモーターの発展に顕著な功績を示した個人に対して、毎年授与される。
- 7.11.1.3.** 授与頻度及び数：毎年、1つのみ授与される。
- 7.11.1.4.** 推薦及び承認：推薦が提出されるまでの期間が対象となる。
推薦及び承認の手続きは定款第9章の規定に従う。
- 7.11.2. アン・ウェルチ・ディプロマ**
- 7.11.2.1.** 歴史：本賞は、FAIマイクロライト委員会の提案に基づき、2006年にFAIにより制定された。
アン・ウェルチは長年、FAIの副会長およびFAI会報の編集者を務め、マイクロライトと

パラモーターのみならず滑空機及びハング・グライダーの発展に国際的な役割を果たした。彼女は、FAIマイクロライト委員会（CIMA）の設立及びマイクロライトとパラモーター・スポーツ規定の作成に貢献した。
彼女はマイクロライトとパラモーター・スポーツ飛行のために、長年精力を傾けた。

- 7.11.2.2.** 資格：本賞は、当該年にマイクロライトもしくはパラモーターの世界記録を樹立し、最も称賛に値する飛行を行ったとCIMAが認めたマイクロライトもしくはパラモーターのパイロットあるいはクルーに、毎年授与される。
- 7.11.2.3.** 授与頻度及び数：マイクロライトとパラモーターそれぞれに対して、毎年、1つのみ授与される。
- 7.11.2.4.** 推薦及び承認：推薦は正式なFAIの世界記録のデータベースの資格のある候補者のリストに基づき委員会の代表者により検討される。
このリストは委員会の年次会議までに配布される。
その他、手続きは定款第9章の規定に従う。
例外に、定款9.1.2.2の規定にもかかわらず、賞状は同じ個人もしくはチームに再度授与される。

7. 12. 自作航空機の賞

(FAI自作航空機委員会により承認される)

7.12.1. フェニックス・ディプロマ、フェニックス・グループ・ディプロマ

- 7.12.1.1.** 歴史：本賞は、FAIにより1978年及び1990年に各々制定された。
- 7.12.1.2.** 資格：ヴェンテージ（製作後30年以上経過）航空機の復元あるいは復旧修理で素晴らしい結果を成し遂げた場合に授与される。
フェニックス・ディプロマはアチュア個人に対して、フェニックス・グループ・ディプロマはグループ（規模や種類は問わない。例えば、美術館、後援団体、学会、会社）に対して授与される。
- 7.12.1.3.** 授与頻度及び数：毎年、個人及びグループ各々に1つずつ授与される。
- 7.12.1.4.** 推薦及び承認：定款第9章の規定に従う。但し、以下の追加規定がある。
- 7.12.1.4.1.1.** 推薦に際しては、以下の内容を記載した文書を添付する必要がある。
- － 航空機の種類
 - － 航空機の歴史（歴史的価値のある航空機であることが望ましい）
 - － 復元あるいは復旧修理を担当した個人あるいはグループの名前
 - － オリジナル航空機の製造番号（上記データは1ページに記載されていること）
 - － 少なくともカラー写真1枚と白黒写真1枚を提出すること。
サイズは18cm×24cm以上とし、ネガを添付。
 - － A3サイズの概観図
- 7.12.1.4.1.2.** FAI自作航空機委員会は選考にあたり、以下を考慮する。

- － 航空機の経年数。原型は少なくとも推薦の30年前に製作されたものでなければならない。
- － 正確さ。航空機は原形を出来るだけ忠実に復元してなければならない。

7.12.2. アンリ・ミネ・ディプロマ

7.12.2.1. 歴史：アンリ・ミネは伝説的なフランスの自作航空機製作者であり、有名な「Flying Fera」の設計者である。
本賞はFAI自作航空機委員会により提案され、FAIにより制定された。
本賞は、アンリ・ミネの“全ての人の航空”哲学の精神を記念し、存続するためにある。

7.12.2.2. 資格：本状は、あらゆるカテゴリー（マイクロライトを含む）の航空機の発展に寄与し、以下の1つもしくは複数の条件を満たしたアマチュア航空機製作者あるいは製造グループに授与される。

- － 運航及び製作にかかる費用が安い
- － シンプルなデザイン（凝ったデザインや技術ではないこと）
- － 製作及び整備が容易にできること
- － 顕著な飛行特性
- － 特徴的かつ革新的概念

7.12.2.3. 推薦に際しては、下記のいずれかが含まれていること。

- － 航空機用以外のエンジンの使用
- － 代替燃料
- － 代替素材（通常、航空機に使用されない素材）
- － 低騒音

7.12.2.3.1. 航空機の耐空性あるいは同様の証明を取得しなければならない。

7.12.2.4. 授与頻度及び数:毎年1つのみ授与される

7.12.2.5. 推薦及び承認: 定款第9章の規定に従う。但し、下記事項の充足を要件とする。

7.12.2.5.1 推薦には下記が含まれること。

- － 航空機に関する記述－使用材料、製作方法の詳細を含む一般的な特徴
- － 開発及び製作の経緯
- － 設計者及び製作者の氏名
- － 概観図3枚、様々な角度から撮影した写真を3枚以上
- － 飛行実験の簡単な報告

7.12.3. デイビット・フォークナー・ブライアン・ディプロマ

7.12.3.1. 歴史：デイビット・フォークナー・ブライアンは、ライトエアクラフト協会の会長を歴任。2010年に自作航空機、ヴィンテージ航空機、スポーツ飛行を含むライトエアクラフト協会が設立されるまで、前身のポピュラーフライング協会の会長も歴任した。彼はFAI自作航空機委員会の初代会長兼名誉会長であった。FAIは本賞をFAI自作航空機委員会の提案により2020年に制定した。

- 7.12.3.2** 資格：本賞はあらゆるカテゴリーのプランビルト機またはキットビルト機の製作者あるいは製作グループに授与される。新しいデザインには適用しない。航空機は、耐空証明あるいは同等の証明を取得し、且つ製作者（グループ）は、受賞の前年に申請者の国において最高技能（クラフトマンシップ）が評価を受けていることとする。
- 7.12.3.3** 授与頻度及び数：毎年1つのみ授与される。
- 7.12.3.5** 推薦及び承認：定款第9章の規定に従う。但し、下記事項の充足を要件とする。
- 7.12.3.5.1** 推薦には下記が含まれこと：
- － 航空機に関する記述－使用材料、製作方法の詳細を含む一般的な特徴。キットビルト機の場合は納品されたキット部品の詳細
 - － 製作の経緯、製作過程と活動中の製作者（グループ）の詳細な写真
 - － 設計者及び製作者の氏名
 - － 機体三面図と完成した機体を様々な角度から撮影した写真を3枚以上
 - － 飛行実験の簡潔な報告書

7. 13. 環境賞

- 7.13.1. アンジェロ・ダリーゴ・ディプロマ**
- 7.13.1.1.** 歴史：本ディプロマはFAI環境委員会の提案に基づき、2013年に制定された。
- 7.13.1.2.** 資格：航空が影響を及ぼす環境についての関心を高める活動あるいはその環境を保護する活動において特に顕著な功績のあった個人あるいは組織に授与される。
当該活動には次のものを含む。
- ① 科学的研究
 - ② 操縦士や航空スポーツクラブまたはNACや公共団体あるいは中小企業のような民間団体によって展開、推進された私的、公的あるいは商業的なイベントや活動。
- 7.13.1.3.** 授与頻度及び数：毎年、1つのディプロマのみ授与される。
- 7.13.1.4.** 推薦及び承認：手続きは定款第9章の規定に従う。

7. 14. 教育賞

- 7.14.1 ナイル・ゴールド・メダル**
- 7.14.1.1** 歴史：本メダルは1972年に制定された。毎年エジプトエアロクラブよりFAIに寄贈される。
- 7.14.1.2.** 資格：本メダルは、特にその授与の前年に、航空宇宙教育の分野において顕著な功績のあった個人、グループあるいは組織に授与される。
- 7.14.1.3** 授与頻度及び数：毎年1つのみ授与される。

- 7.14.1.4** 推薦及び承認：手続きは定款第9章の規定に従う。メダルの授与は教育委員会の承認が必要である。

7. 15. 医学生理学賞

7.15.1 ドクター・ピーター・サウンドビー ディプロマ

- 7.15.1.1** 歴史：本ディプロマは、グライダー操縦士であり、2005年から2010年までFAI生理医学委員会の会長で、その後名誉会長となったロバート・ピーター・サウンドビー博士を偲んで2021年にFAIによって制定された。彼はFAI名誉会員（2012年）であり、ポール・ディサンディエ・ディプロマ受賞者（1996年）であった。彼の粘り強さ、説得力、構造化された論理的な議論、特に合理的な医療規制の促進と官僚制の縮小における航空スポーツへの多大な貢献が本賞の制定に至った。

- 7.15.1.2** 資格：本FAI賞は毎年、FAI国際航空連盟定款付則2021年31CIMP副委員会の提言より、広く飛行の安全とスポーツパイロットのパフォーマンスに大きく貢献した個人、グループ、または組織に授与される。例えば、ヒューマンファクターの概念、トレーニング施設、科学的研究、メディカルフィットネスと評価、エアスポーツパイロットの限られた能力、アンチドーピング、エアスポーツのルール作成、FAI委員会活動および関連業務など。ただしこれらに限定されるものではない。

- 7.15.1.3** 推薦及び承認：定款第9章の規定に従う。但し、申請はFAI会長または事務局長の承認を要件とする。

第8章 FAIバッジ

8. 1. スポーツバッジ

スポーツバッジはスポーツ規定に則り、授与される。

8. 2. 名誉会員バッジ

名誉会員バッジは第9章の規定に従い、授与される。

8. 3. 前会長の栄誉の印

このバッジは定款10.12.項の規定に従い、FAIの前会長に授与される。

第9章 FAI名誉会員

9. 1 FAI名誉会員

9.1.1. 任命

- 9.1.1.1. 1994年12月31日以前の規則にもとづき任命された全てのFAI名誉会員は、その身分を永久に保持できる。
- 9.1.1.2. FAI会長は、名誉会員として任命するのに相応しいと思われる人物を、毎年総会に提言する。総会での受諾により任命される。
- 9.1.1.3. 定款2.11.1.2.3.に則り、総会で取り消されない限り、終身任命となる。
- 9.1.1.4. 事務局長の管理下で3年に1回開催される名誉会員間の郵便投票の結果を考慮に入れた上で、総会はFAI名誉会員任命のための調整役を指名できる。

9.1.2. 特権

- 9.1.2.1. 各FAI名誉会員が受け取る連番を付した賞状とバッジの授与は次の通りとする。
- 9.1.2.1.1. ー 関係するFAI会員の同意を得て、可能な限り最も早く開催される総会で授与されることが望ましい。
- 9.1.2.1.2. ー あるいは、当外FAI会員の本部で
- 9.1.2.1.3. ー FAI会長及び当該FAI会員の同意が得られれば、他の適切な機会
- 9.1.2.2. FAI名誉会員は、FAIの全ての公式出版物の郵送リストに記載され、かつ全てのスポーツ競技会に出席できる。
- 9.1.2.3. FAI名誉会員は、オブザーバーとしてFAI総会に出席する権利を有する。
- 9.1.2.4. FAI名誉会員は、総会で承認されたオブザーバーに与えられる全ての割引、及びその他の特別な取り計らいを受ける権利を有する。
- 9.1.2.5. 総会の開会式では、名誉会員は、その地位にある者として認識されるよう、特別の専用座席が与えられる。

9.1.3. 役割

- 9.1.3.1. 全名誉会員の中から3名が年2回選出され、FAI表彰顧問団のメンバーとして活動する。

- 9.1.3.2.** FAI表彰顧問団の選出はFAI事務局長の管理下、郵便投票により実施される。有効である選挙は最低10名の名誉会員の票が必要になる。
- 9.1.3.3.** 表彰顧問団はFAIゴールド・エア・メダルとアウトスタンディング・エアマンシップ・ディプロマ及びFAI委員会の責任の範囲外の他のFAI賞に関する全ての推薦を審査する。各推薦が定款付則の表彰関連規定の最低基準を満たしているかどうかをFAI副会長に勧告できる。しかしながら、同一の表彰に対して複数の推薦がある場合、各々の功績を比較評価してはならない。
- 9.1.3.4.** 表彰顧問団はFAI賞の制定、廃止あるいは改正に関し、それらが特定のFAI委員会の分野に該当しない限り、FAI執行役員会に忠告することができる。

9.2 FAI賛助団体

9.2.1 一般規則

9.2.1.1. FAIは、FAI及びFAIの目標と目的（定款1.2.項の規定参照）の実現を支援したいと希求する会社や研究機関等の団体（法人その他）を、FAI「プラチナ」、「ゴールド」、「シルバー」賛助団体と認定することで承認する。

9.2.1.2. 申請手続とFAI賛助団体に提供される特典・恩典は下記の通りとする。

9.2.2. 申請

9.2.2.1. FAI賛助団体となるには、当該会社あるいは団体（法人その他）の1名、あるいは複数の署名権限を有する者が署名した申請書をFAI事務局に提出することが必要である。申請書には下記書類の添付が必要である。

9.2.2.1.1. - 会社の最新の年次報告書

9.2.2.1.2. - 連絡担当者の氏名及び連絡先

9.2.2.1.3. - 本部の住所

9.2.2.1.4. - FAI賛助団体質問書への回答

9.2.2.1.5. - 申請区分の賛助金の支払い。

申請が受理されなかった場合は、支払金は全額返却される。

申請とは異なる区分で認められ、申請者がこれに同意し、会費の差額がある場合、申請者はその差額を支払うか、あるいはFAIはその差額を返却する。

9.2.2.2. これらの申請を受領するかどうかは、FAI執行役員会により決定される。

9.2.2.3. FAIは会社あるいは団体（法人その他）のFAIに対する功労に報いるべく、期限を限って賛助団体と指定することができる。

9.2.3. 特典

9.2.3.1. 各FAI賛助団体は、総会で決定されFAIウェブサイトに掲載されるプラチナ、ゴールドシルバー いずれかの特典を、支払われた賛助金によって決められる期間、享受できる。総会はこれらの特権を状況に応じて修正する権限を執行役員会に委任する。

9.2.4. 賛助金

9.2.4.1 FAI賛助団体の各区分ごとの賛助金額は総会で決定される。

9.2.4.2. FAIに対し、金銭債務を果たしたFAI賛助団体のみが11.3.項に規定する特典を享受することができる。

9.2.5. 脱退および取り消し

9.2.5.1. 賛助団体からの届出

9.2.5.1.1. 脱退に際しては、脱退を希望する賛助団体の署名権限を有する者が署名した脱退届を、書留郵便で12月末日以前にFAI事務局に提出しなければならない。
毎年履行されるべき支払に関し、当年度の賛助金支払いがなされていない場合は直ちに履行しなければならない。
脱退届の受領が1月1日以降となった場合、次年度の賛助金支払い債務を負うものとする。

9.2.5.2. FAIによる取り消し

9.2.5.2.1. 賛助団体がFAIに対する金銭債務の履行を怠った場合、あるいはFAIの理念、構想、もしくはFAI定款に違背した場合、総会は賛助団体の認定を取り消すことができる。

9.3 FAI名誉会長

9.3.1. FAI名誉会長としてFAIを代表する、あるいはイベントに出席する際は、FAI会長による事前承認（予算面を含む）を必要とする。

9.3.2. 名誉会長の身分証明—個人のEメール（かつ該当する場合は住所）を使用する。
（例）Eメールの署名もしくは名刺

9.3.3. イベントにおいては、常時FAI会長を代表して発言する。

9.3.4. （FAIの）旅費交通費規定が適用される。

9.3.5. 出席したイベントに関する報告書はFAI会長に提出される。

第10章 FAI推奨施設

10. 1. 一般規定

- 10.1.1.** 航空スポーツ、航空（商業飛行や軍用飛行を含む）、および宇宙航空の歴史や実施に関し、公衆、特に子供達や若者に教育を施すことができる価値ある博物館のコレクションや特別展示品等をFAIは承認することができる。
- 10.1.2.** 推奨施設の規準、および申請方法は以下に規定する。

10. 2. 規準

- 10.2.1.** FAI推薦を受けるために、施設は以下の規準を満たさなければならない。
- 10.2.1.1.** 重要でかつ有意義な航空／宇宙航空の収集品があり、その大半が原物（複製航空機が一部含まれていても構わない）からなる。
- 10.2.1.2.** 特に子供達及び若者のために企画されたプログラムや行事を運営する。
- 10.2.1.3.** その収集品の目録を作成し、歴史上の流れに従い、論理的な方法で展示を行う。
- 10.2.1.4.** 調査員、館長あるいは保管人のような専門家に、いつでも連絡がとれる。

10. 3. 手続き

- 10.3.1.** FAI会員あるいはFAI委員会はFAI事務局で入手可能な標準申請書を使用してFAI推奨施設の申し込みをすることができる。
- 10.3.2.** FAI会員からの申請にはFAI会長あるいは事務局長が署名する。
FAI委員会からの申請には委員会委員長が署名するが、関連するFAI会員の承諾を得た旨の証明が必要となる。
- 10.3.3.** 全ての申請には、当該施設に対してFAI会員が指名した適切な資格を持った人物による調査が行なわれ、かつ、上記10.2.項目に記載されている規準を満たしているという署名入りの申告書が含まれている必要がある。
- 10.3.4.** 申請書類は、初年度申請料100スイスフラン（振込先等は申請書に記載）とともにFAI事務局に提出されなければならない。次年度以降は、当該プログラムの継続参加料及び翌年分の証明書の受領費として、毎年50スイスフランが請求される。

- 10.3.5.** 当該プログラム及びFAIによる推奨の有効性及び継続性を保証するため、上記10.2.項に規定されている規準を継続して満たしていることを確認するための質問書が、毎年12月に当該施設に送られる。
- 10.3.6.** FAI執行役員会は申請の承認に対する責任を負う。FAI教育委員会はFAI執行役員会からの諮問を受けて、推薦を行う。
- 10.3.7.** 承認後、1年間有効な証明書が発行され、推奨施設に送られる。
- 10.3.8.** 10.2.項に規定されている規準を満たさない事実が判明した場合、FAI執行役員会は、いつでもFAI推奨施設の認定を取り消すことができる。